

地球温暖化対策に関する市民アンケート調査結果報告書（速報）

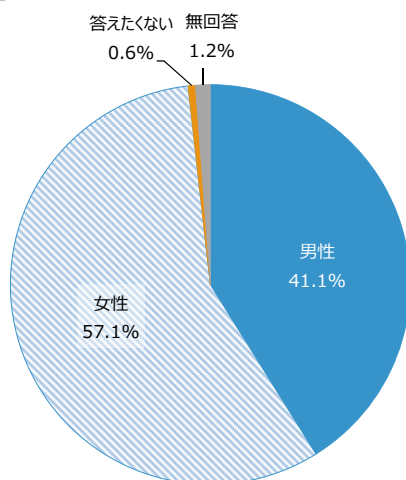
1 アンケート調査の概要

- 調査期間 : 令和 5 年 12 月 25 日～令和 6 年 1 月 26 日
- 調査対象 : 市民
- 抽出方法 : 住民基本台帳から無作為抽出
- 調査方法 : 郵送による配布・回収、Web
- 配布数 : 1,000 通
- 回収結果 : 有効回収数 : 338 通（内 Web 71 件）（有効回収率 : 33.8%）

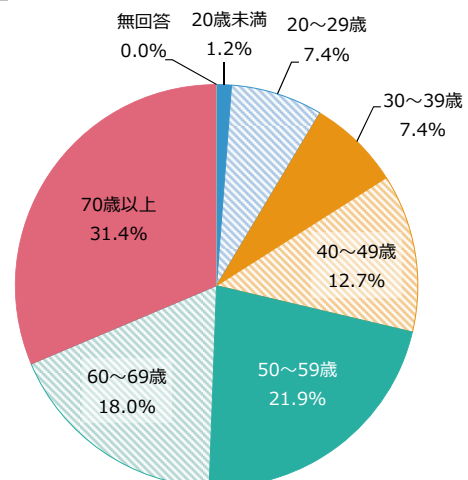
2 アンケート調査結果

問 1 あなた自身のことについてお聞きます。（各項目あてはまる番号 1 つに○）

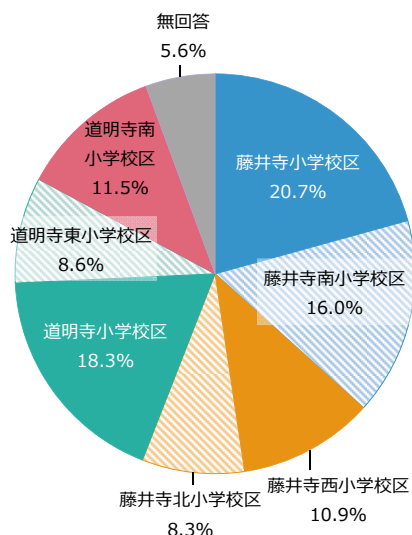
■ 性別



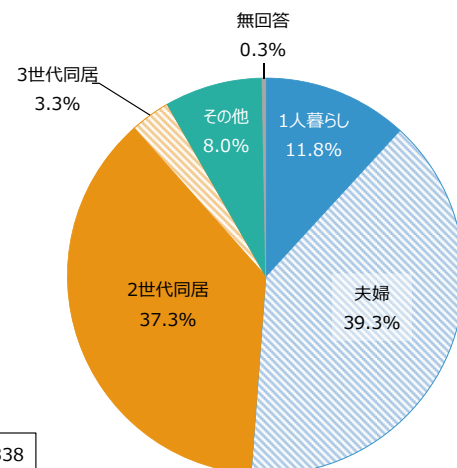
■ 年齢



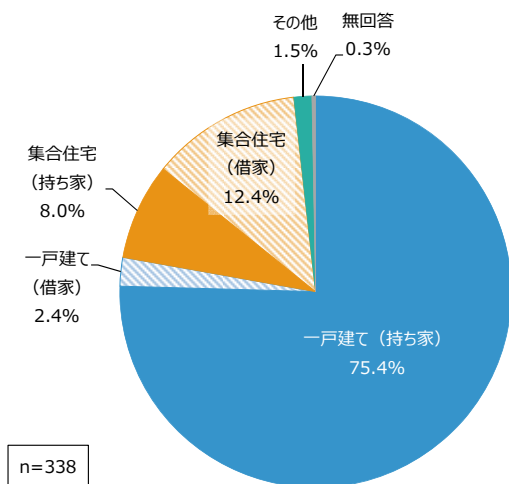
■ 居住地区



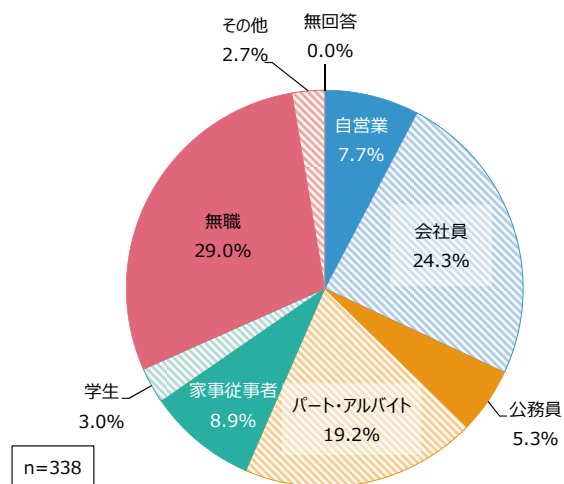
■ 家族構成



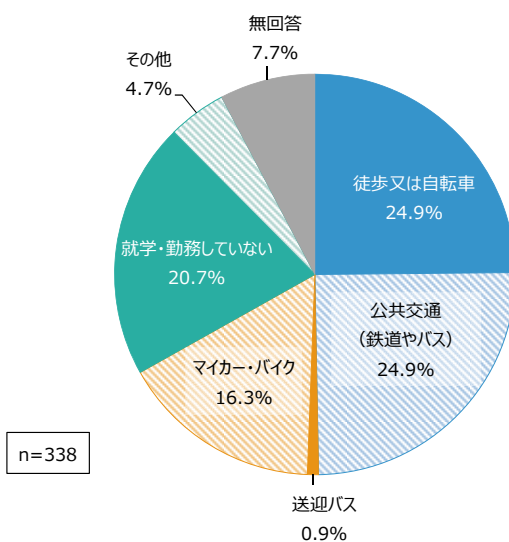
■ 居住形態



■ 職業



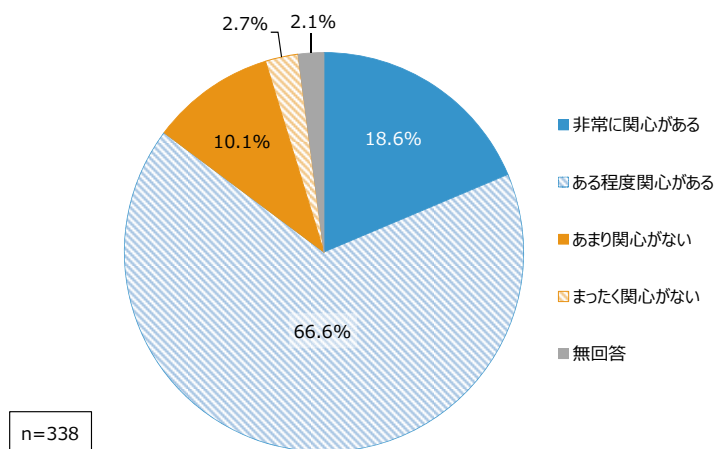
■ 通勤・通学の主な交通手段



問 2

あなたは、地球温暖化問題に関心がありますか。（あてはまる番号 1 つに○）

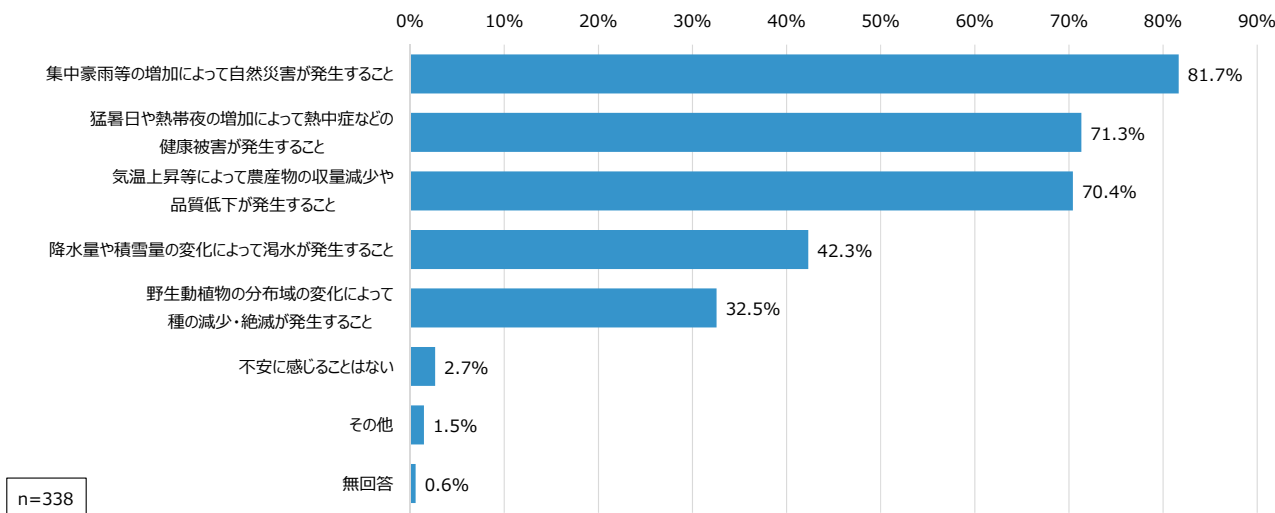
地球温暖化問題への関心については、「ある程度関心がある」が 66.6%で最も多く、次いで「非常に関心がある」が 18.6%、「あまり関心がない」が 10.1%などとなっている。



問 3

あなたは、地球温暖化の影響について不安に感じることがありますか。（あてはまる番号全てに○）

地球温暖化の影響による不安については、「集中豪雨等の増加によって自然災害が発生すること」が 81.7%で最も多く、次いで「猛暑日や熱帯夜の増加によって熱中症などの健康被害が発生すること」が 71.3%、「気温上昇等によって農産物の収量減少や品質低下が発生すること」が 70.4%などとなっている。



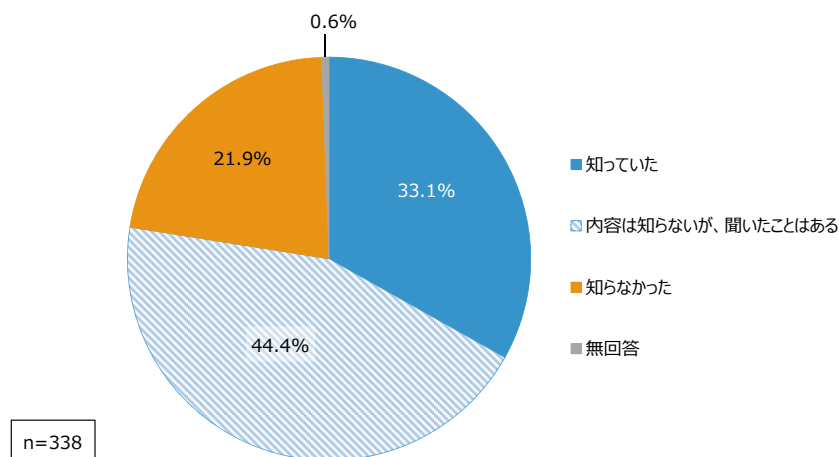
■ その他の主な意見

- ・ 海面上昇による島国への影響
- ・ 海面上昇による陸地の水没、収穫可能な作物や魚種の変化

問 4

二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量から、森林等による吸収量を差し引いて実質ゼロにすることを「カーボンニュートラル」といいます。あなたは、「カーボンニュートラル」という言葉を知っていましたか。（あてはまる番号 1 つに○）

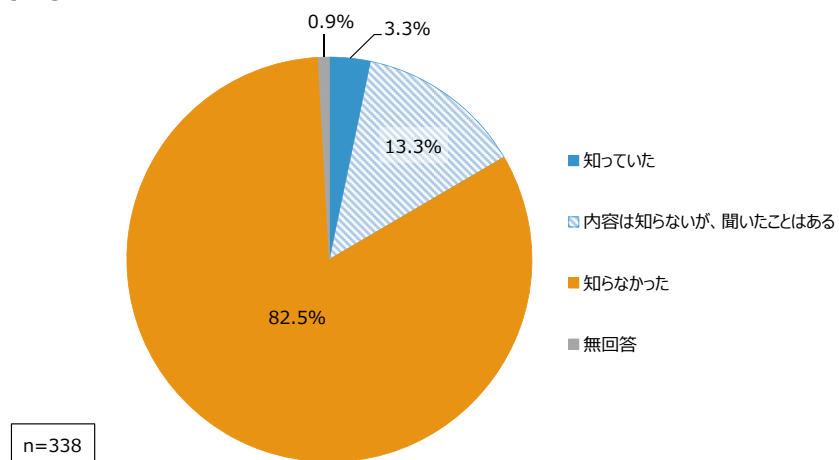
「カーボンニュートラル」の認知度については、「内容は知らないが、聞いたことはある」が 44.4%で最も多く、次いで「知っていた」が 33.1%、「知らなかった」が 21.9%となっている。



問 5

2050 年までにカーボンニュートラルの実現を目指すことを表明した地方自治体のことを「ゼロカーボンシティ」といいます。藤井寺市においても、令和 5 年 6 月に「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言しました。あなたは、藤井寺市が「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言し、地球温暖化対策を推進していることを知っていましたか。（あてはまる番号 1 つに○）

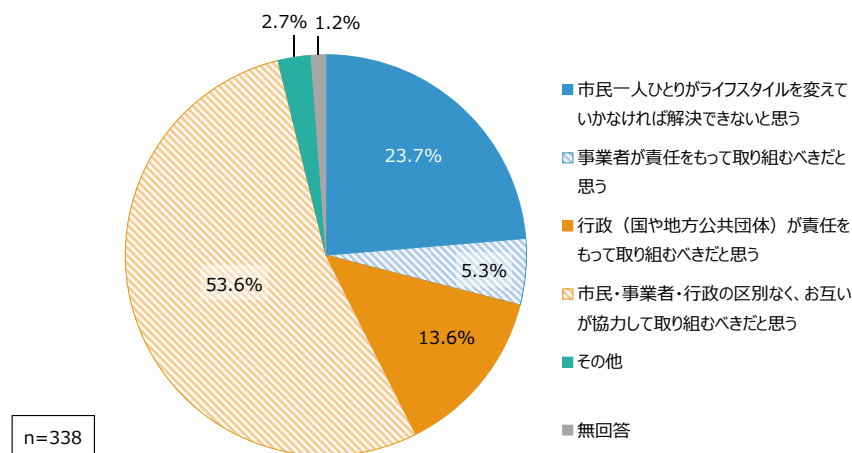
藤井寺市が「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言し、地球温暖化対策を推進していることに対する認知度については、「知らなかった」が 82.5%で最も多く、次いで「内容は知らないが、聞いたことはある」が 13.3%、「知っていた」が 3.3%となっている。



問 6

あなたは、地球温暖化対策を担うべき主体について、どのようにお考えですか。（あてはまる番号 1 つに○）

地球温暖化対策を担うべき主体については、「市民・事業者・行政の区別なく、お互いが協力して取り組むべきだと思う」が 53.6%で最も多く、次いで「市民一人ひとりがライフスタイルを変えていかなければ解決できないと思う」が 23.7%、「行政（国や地方公共団体）が責任をもって取り組むべきだと思う」が 13.6%などとなっている。



■その他の主な意見

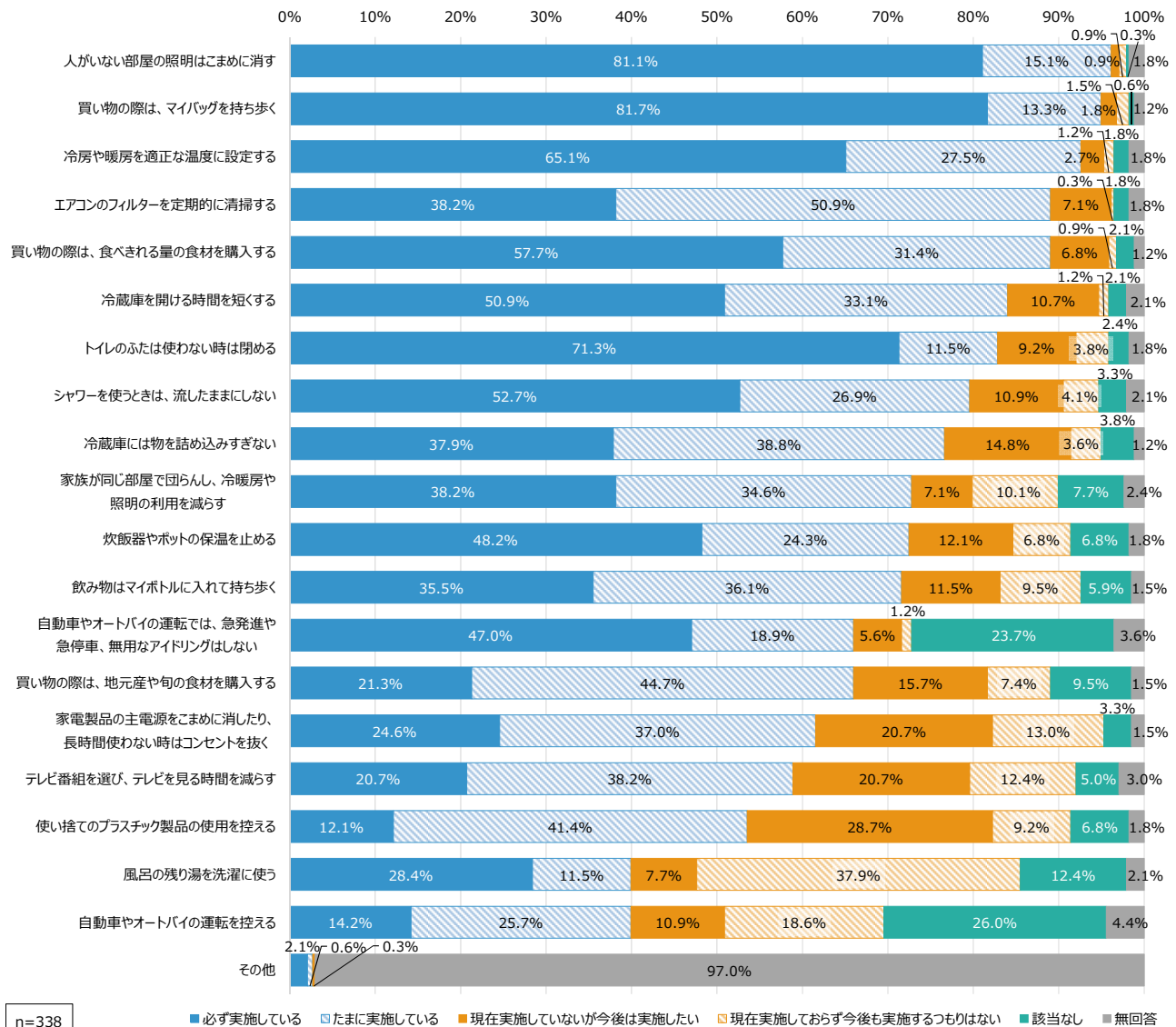
- ・ 得した者がその責任を取るのは当たり前
- ・ 全体が意識して取り組まない限り、永遠に課題が山積みでは？
- ・ 市民一人ひとりがライフスタイルを変えなければならないが、そのために行政が方針を決めて国民に浸透させなければならないと思う
- ・ 市民、事業者、行政の協力は必要とは思いますが、市民生活や企業活動（企業や大学の研究開発含む）が、自然と温暖化対策に合致したものになるように、行政が主導してシステム構築をすべきと思う

問 7

あなたのご家庭では、省エネルギーなどに関する取組を行っていますか。（各項目あてはまる番号1つに○）

省エネルギーなどに関する取組について、「必ず実施している」及び「たまに実施している」と回答された取組は、「人がいない部屋の照明はこまめに消す」が96.2%で最も多く、次いで「買い物の際は、マイバッグを持ち歩く」が95.0%、「冷房や暖房を適正な温度に設定する」が92.6%などとなっている。

一方、「現在実施しておらず今後も実施するつもりはない」と回答された取組は、「風呂の残り湯を洗濯に使う」が37.9%で最も多く、次いで「自動車やオートバイの運転を控える」が18.6%、「家電製品の主電源をこまめに消したり、長時間使わない時はコンセントを抜く」が13.0%などとなっている。



n=338

■ 必ず実施している ■ たまに実施している ■ 現在実施していないが今後は実施したい ■ 現在実施しておらず今後も実施するつもりはない ■ 該当なし ■ 無回答

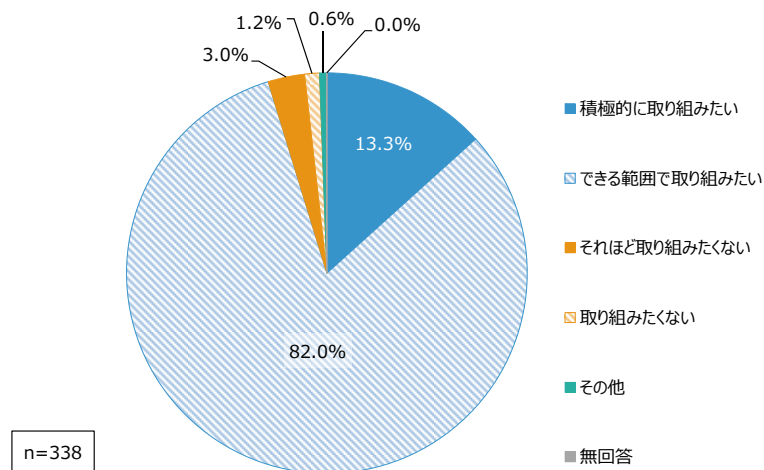
■ その他の主な意見

- ・ 紙など資源ごみの分別
- ・ 食品ロスを出さない
- ・ OMソーラーを利用
- ・ 全て最後の最後まで絞って使い切る
- ・ ひざ掛けや、暖かい上着の使用
- ・ 日中は電気を消す

問 8

あなたは、省エネルギーなどの地球温暖化対策にどの程度取り組んでいきたいと思いますか。（あてはまる番号 1 つに○）

地球温暖化対策への意向については、「できる範囲で取り組みたい」が 82.0%で最も多く、次いで「積極的に取り組みたい」が 13.3%、「それほど取り組みたくない」が 3.0%などとなっている。

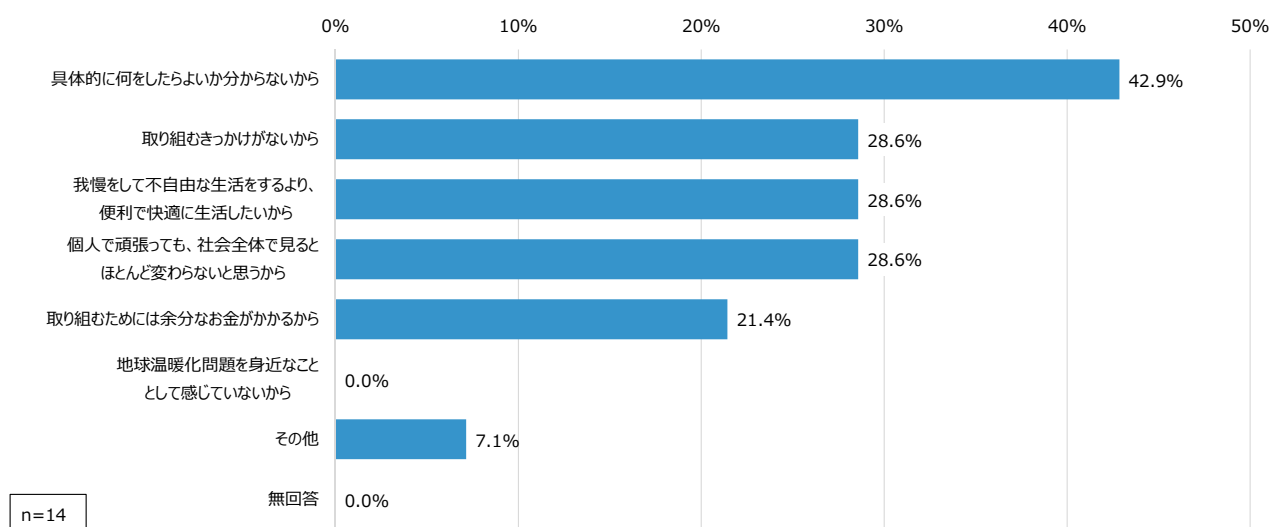


問 9

※問 8 で、「それほど取り組みたくない」、「取り組みたくない」を選択した方のみ

あなたは、省エネルギーなどの地球温暖化対策に取り組みたくない要因として何があると思いますか。（あてはまる番号全てに○）

地球温暖化対策に取り組みたくない要因については、「具体的に何をしたらよいかわからないから」が 42.9%で最も多く、次いで「取り組むきっかけがないから」、「我慢をして不自由な生活をするより、便利で快適に生活したいから」、「個人で頑張っても、社会全体で見るとほとんど変わらないと思うから」が 28.6%などとなっている。



■ その他の主な意見

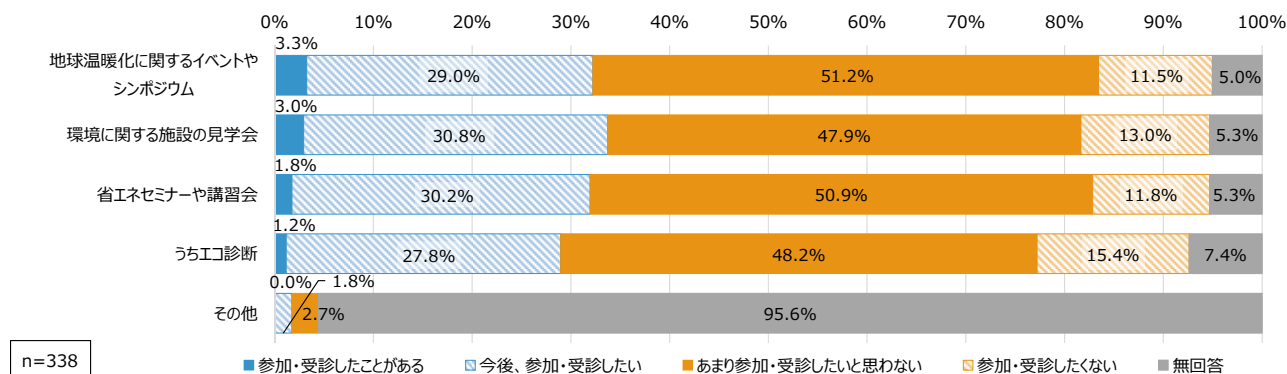
- 政治的問題にすぎる

問 10

あなたは、地球温暖化に関するセミナーやイベントに参加したり、うちエコ診断を受診したことはありますか。また、今後参加したり、受診したいと思いますか。（各項目あてはまる番号 1 つに○）

地球温暖化に関するセミナーやイベント、うちエコ診断について、「参加・受診したことがある」と回答されたのは「地球温暖化に関するイベントやシンポジウム」が 3.3%で最も多く、次いで「環境に関する施設の見学会」が 3.0%、「省エネセミナーや講習会」が 1.8%などとなっている。

また、「今後、参加・受診したい」と回答されたのは、「環境に関する施設の見学会」が 30.8%で最も多く、次いで「省エネセミナーや講習会」が 30.2%、「地球温暖化に関するイベントやシンポジウム」が 29.0%などとなっている。



■その他の主な意見

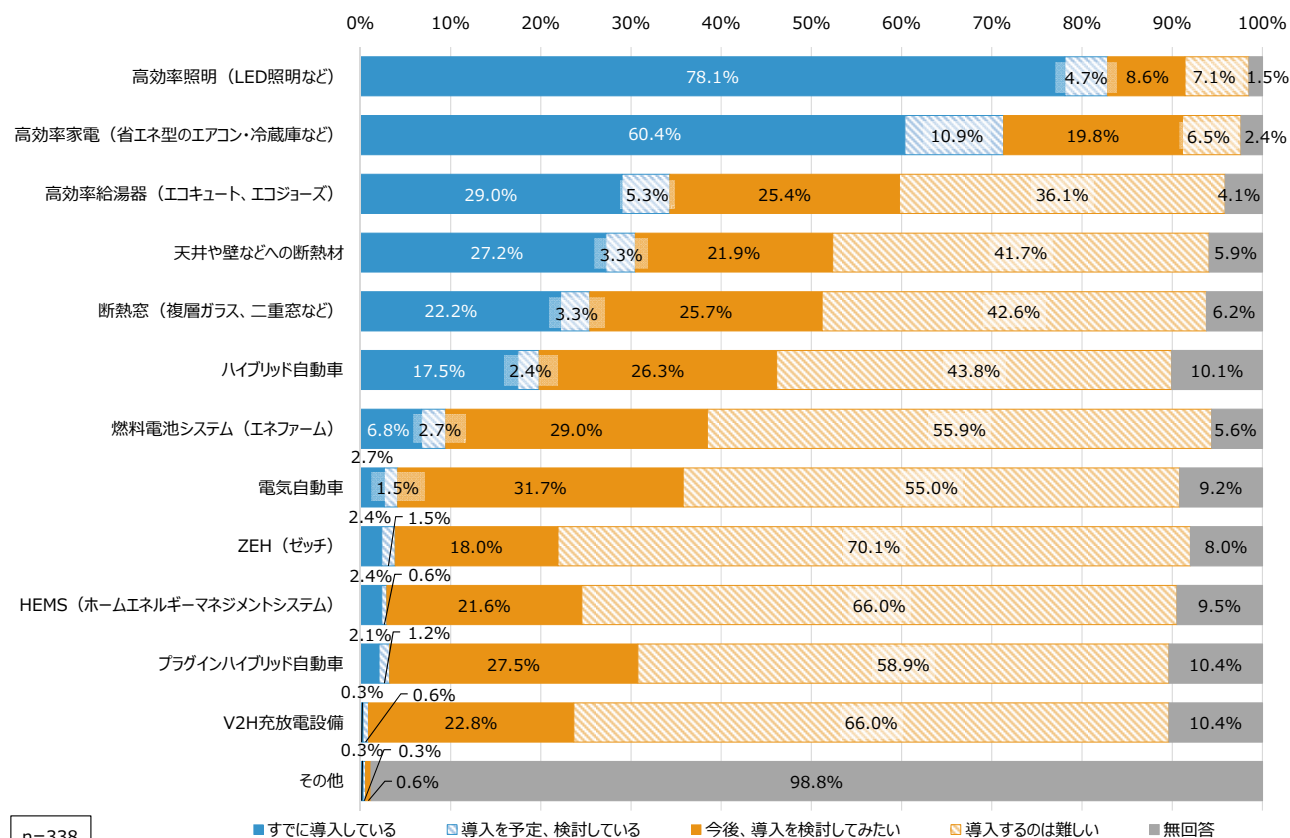
- ・ 参加、受診はしない
- ・ 足が悪いので。テレビにてそういう課題を見るのに努めている
- ・ エコ検定を所持しています
- ・ 大阪ガスの、ストーブの使用時間などを知らせるものに加入している
- ・ 体調が悪く、ほとんど外出しない
- ・ 自分なりにしている

問 11

あなたのご家庭では、省エネルギー機器などを導入していますか。（各項目あてはまる番号 1 つに
○）

省エネルギー機器などについて、「すでに導入している」と回答されたのは、「高効率照明（LED 照明など）」が 78.1%で最も多く、次いで「高効率家電（省エネ型のアコン・冷蔵庫など）」が 60.4%、「高効率給湯器（エコキュート、エコジョーズ）」が 29.0%などとなっている。

また、「今後、導入を検討してみたい」と回答されたのは「電気自動車」が 31.7%で最も多く、次いで「燃料電池システム（エネファーム）」が 29.0%、「プラグインハイブリッド自動車」が 27.5%などとなっている。



■その他の主な意見

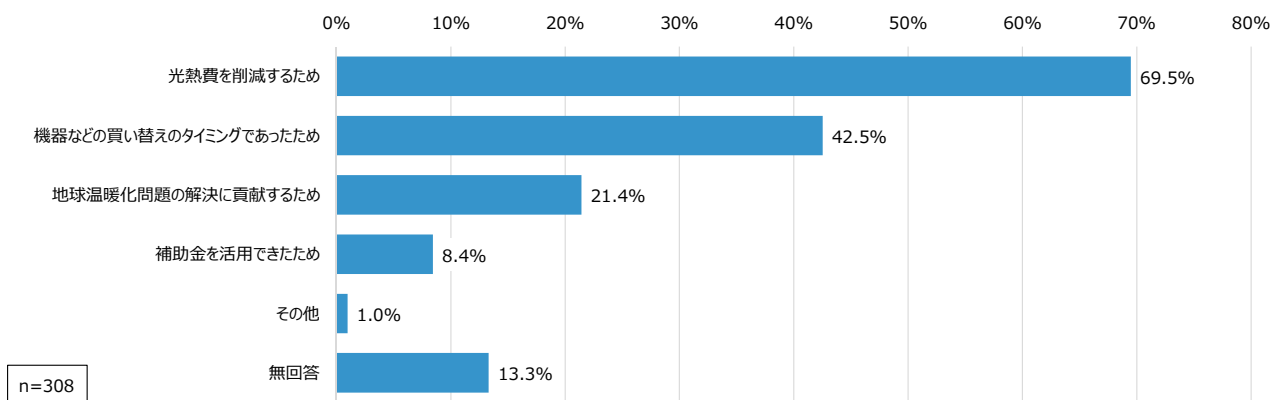
- ZEHとHEMSは知らないです
- 日々の暮らしがとてもしんどいです
- 車は乗らない
- OMソーラー
- 空気清浄機

問 12

※問 11「省エネルギー機器など」で「すでに導入している」、「導入を予定、検討している」を選択した方のみ

導入した、あるいは導入を予定、検討されている理由は何ですか。（あてはまる番号全てに○）

省エネルギー機器などを導入した、あるいは導入を予定、検討している理由については、「光熱費を削減するため」が 69.5%で最も多く、次いで「機器などの買い替えのタイミングであったため」が 42.5%、「地球温暖化問題の解決に貢献するため」が 21.4%などとなっている。



■ その他の主な意見

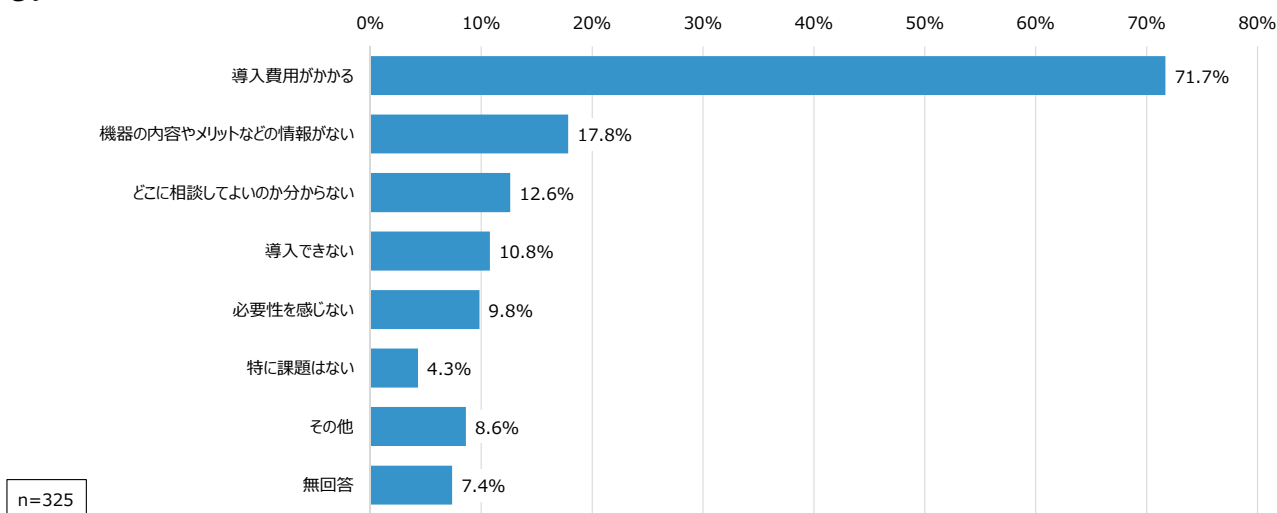
- ・ OM ソーラー利用による冬期暖房で火災、火傷を避けるため
- ・ 性能が良くなってきたため
- ・ 家を建て替えた時に

問 13

※問 11「省エネルギー機器など」で「今後、導入を検討してみたい」、「導入するのは難しい」を選択した方のみ

導入するにあたって、何が課題になると思いますか。（あてはまる番号全てに○）

省エネルギー機器などの導入における課題については、「導入費用がかかる」が 71.7%で最も多く、次いで「機器の内容やメリットなどの情報がない」が 17.8%、「どこに相談してよいのか分からない」が 12.6%などとなっている。



■その他の主な意見

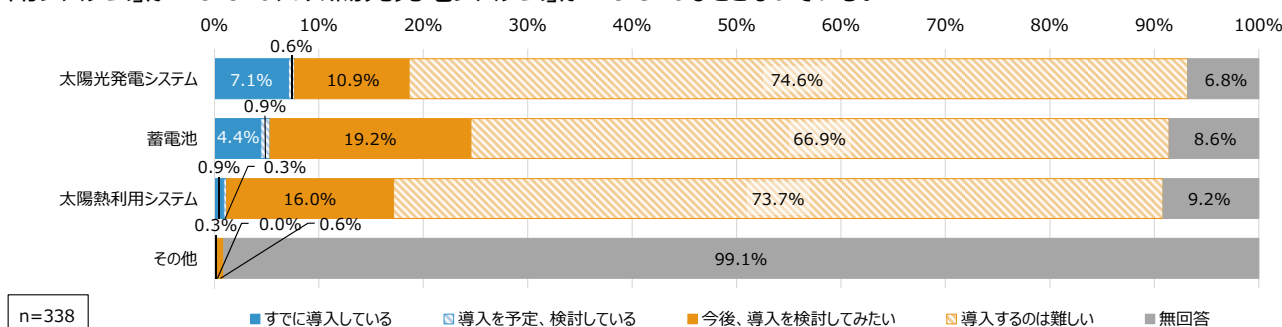
- ・ 導入のタイミング
- ・ 現在集合住宅（借家、賃貸、施設等）に住んでいるため、勝手に導入できない
- ・ 自家用車を持っていない
- ・ 電気自動車など、外出先で充電できる場所がどこにあるか分からない
- ・ 職場との兼ね合いで、そちらのシステムが優先されるため。（職場内に住居があるため）
- ・ まだ買い替えのタイミングがなく使えるのにもったいない
- ・ 独居老人のため費用をかけてまで導入できない
- ・ 夫婦の年金を考えると改修、購入を控える
- ・ 家が古く予定なし
- ・ 高齢のため
- ・ 何年使用するか？年齢的なこと
- ・ 今すぐ必要！という危機感がないので腰が重い。他にすることが山ほどある
- ・ 自動車に関しては購入の意思はなく、公共交通機関を利用
- ・ 家主が許可しない

問 14

あなたのご家庭では、再生可能エネルギー設備などを導入していますか。（各項目あてはまる番号1つに○）

再生可能エネルギー設備などについて、「すでに導入している」と回答されたのは、「太陽光発電システム」が7.1%で最も多く、次いで「蓄電池」が4.4%、「太陽熱利用システム」が0.9%などとなっている。

また、「今後、導入を検討してみたい」と回答されたのは、「蓄電池」が19.2%で最も多く、次いで「太陽熱利用システム」が16.0%、「太陽光発電システム」が10.9%などとなっている。



■その他の主な意見

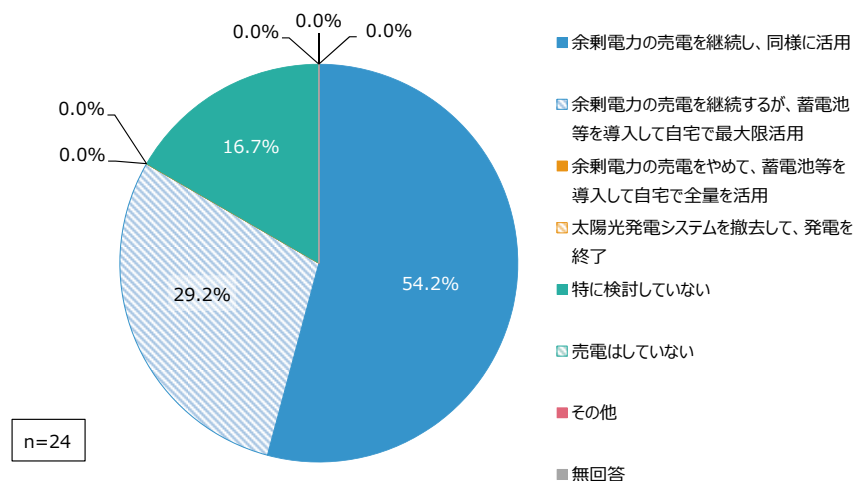
- ・ 借家では無理
- ・ 家が古い（50年）なので太陽光パネルを屋根の上に乗せられない

問 15

※問 14「太陽光発電システム」で「すでに導入している」を選択した方のみ

固定価格買取制度（FIT）の買取期間が終了した後、発電した電気をどのように活用されている、または活用される予定ですか。（あてはまる番号 1 つに○）

固定価格買取制度（FIT）の買取期間終了後の電気の活用については、「余剰電力の売電を継続し、同様に活用」が 54.2%で最も多く、次いで「余剰電力の売電を継続するが、蓄電池等を導入して自宅で最大限活用」が 29.2%、「特に検討していない」が 16.7%となっている。

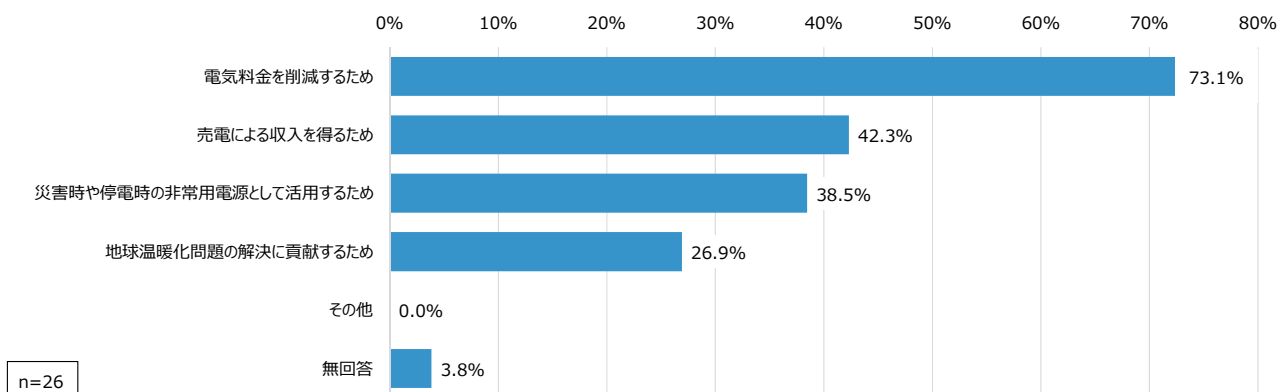


問 16

※問 14「太陽光発電システム」で「すでに導入している」、「導入を予定、検討している」を選択した方のみ

導入した、あるいは導入を予定、検討されている理由は何ですか。（あてはまる番号全てに○）

太陽光発電システムを導入した、あるいは導入を予定、検討している理由については、「電気料金を削減するため」が 73.1%で最も多く、次いで「売電による収入を得るため」が 42.3%、「災害時や停電時の非常用電源として活用するため」が 38.5%などとなっている。

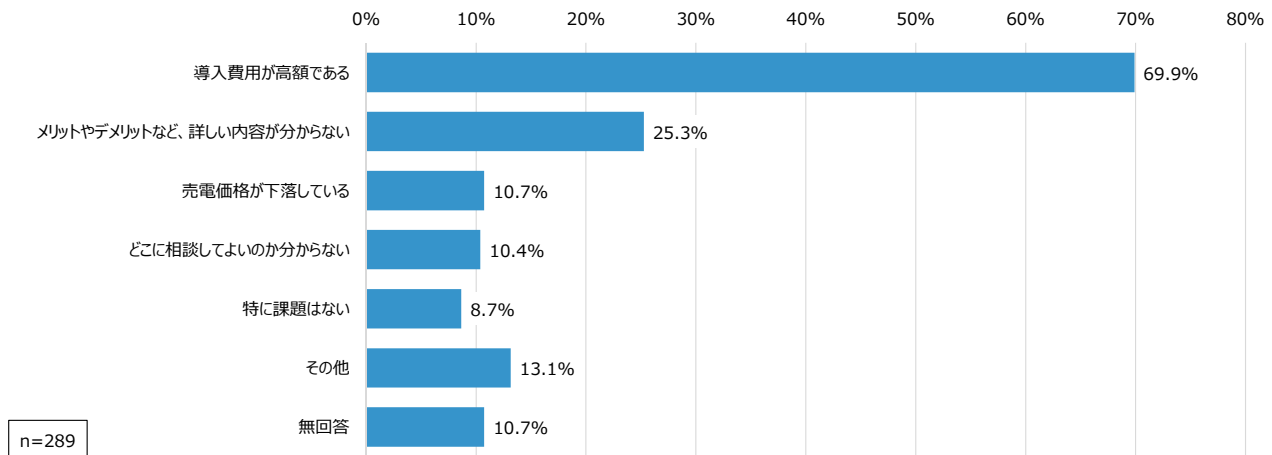


問 17

※問 14「太陽光発電システム」で「今後、導入を検討してみたい」、「導入するのは難しい」を選択した方のみ

導入するにあたって、何が課題となると思いますか。（あてはまる番号全てに○）

太陽光発電システムの導入における課題については、「導入費用が高額である」が 69.9%で最も多く、次いで「メリットやデメリットなど、詳しい内容が分からない」が 25.3%、「売電価格が下落している」が 10.7%などとなっている。

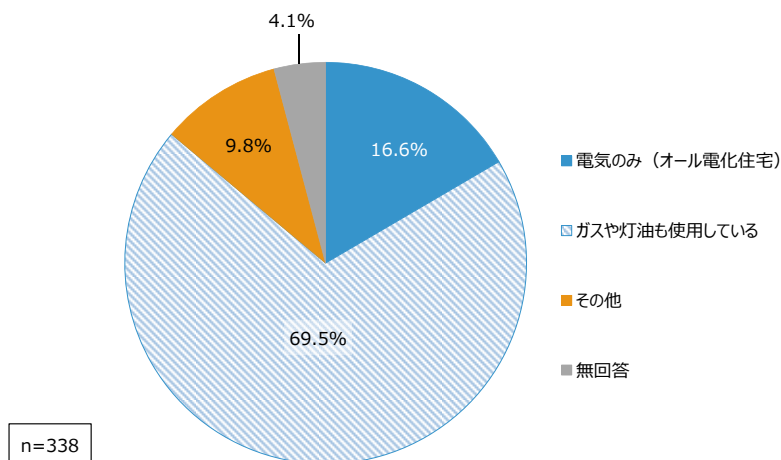


■その他の主な意見

- ・ 必要性を感じないから
- ・ 自分の持ち家でないため
- ・ 高齢のため必要なことと思うけど大掛かりなことは面倒と感じる
- ・ 太陽光パネルの詐欺を聞くことがあり不安
- ・ 高齢のため導入するには大変すぎる
- ・ メンテナンスにも多額の費用がかかると聞いた
- ・ 既に OMソーラーを設置しており太陽光パネルの設置場所が無いのと、資金が無い
- ・ 何かの災害等で電気器具の全てが使用できなくなるのが不安。ガス器具を併用したい
- ・ 故障時や、廃棄時のコストやメンテナンス。パネル（製品）やメーカー等への信頼度
- ・ 家の構造上の問題
- ・ 太陽光パネルの処理に問題がある
- ・ 太陽光パネルに問題が多すぎる
- ・ 屋根がそれ向きではない
- ・ 蓄電池などを導入しているため

問 18 あなたのご家庭ではどのようなエネルギーを使用していますか。（あてはまる番号 1 つに○）

家庭で使用しているエネルギーについては、「ガスや灯油も使用している」が 69.5%で最も多く、次いで「電気のみ（オール電化住宅）」が 16.6%、「その他」が 9.8%となっている。



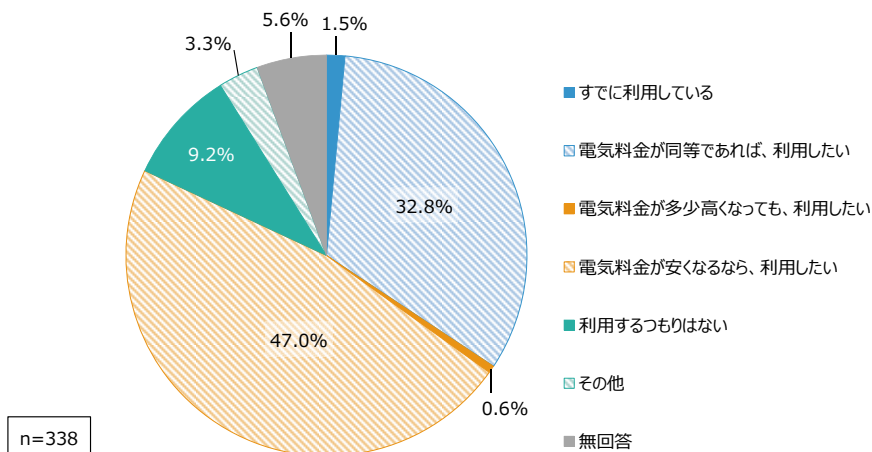
■その他の主な意見

- ・ ガスと電気
- ・ オールガス。安くつくから
- ・ 電気、ガス、OM ソーラー
- ・ 暖房は灯油と電気、キッチンが IH、給湯はガス

問 19

現在、一部の電力会社では、再生可能エネルギーによって作られた二酸化炭素排出ゼロの電力を供給するメニューが用意されています。こういった再生可能エネルギー由来の電力を利用することで、再生可能エネルギー設備を導入しなくても、地球温暖化問題の解決に貢献することができます。あなたは、再生可能エネルギー由来の電力を利用したいと思いますか。（あてはまる番号 1 つに○）

再生可能エネルギー由来の電力の利用については、「電気料金が安くなるなら、利用したい」が 47.0%で最も多く、次いで「電気料金が同等であれば、利用したい」が 32.8%、「利用するつもりはない」が 9.2%などとなっている。



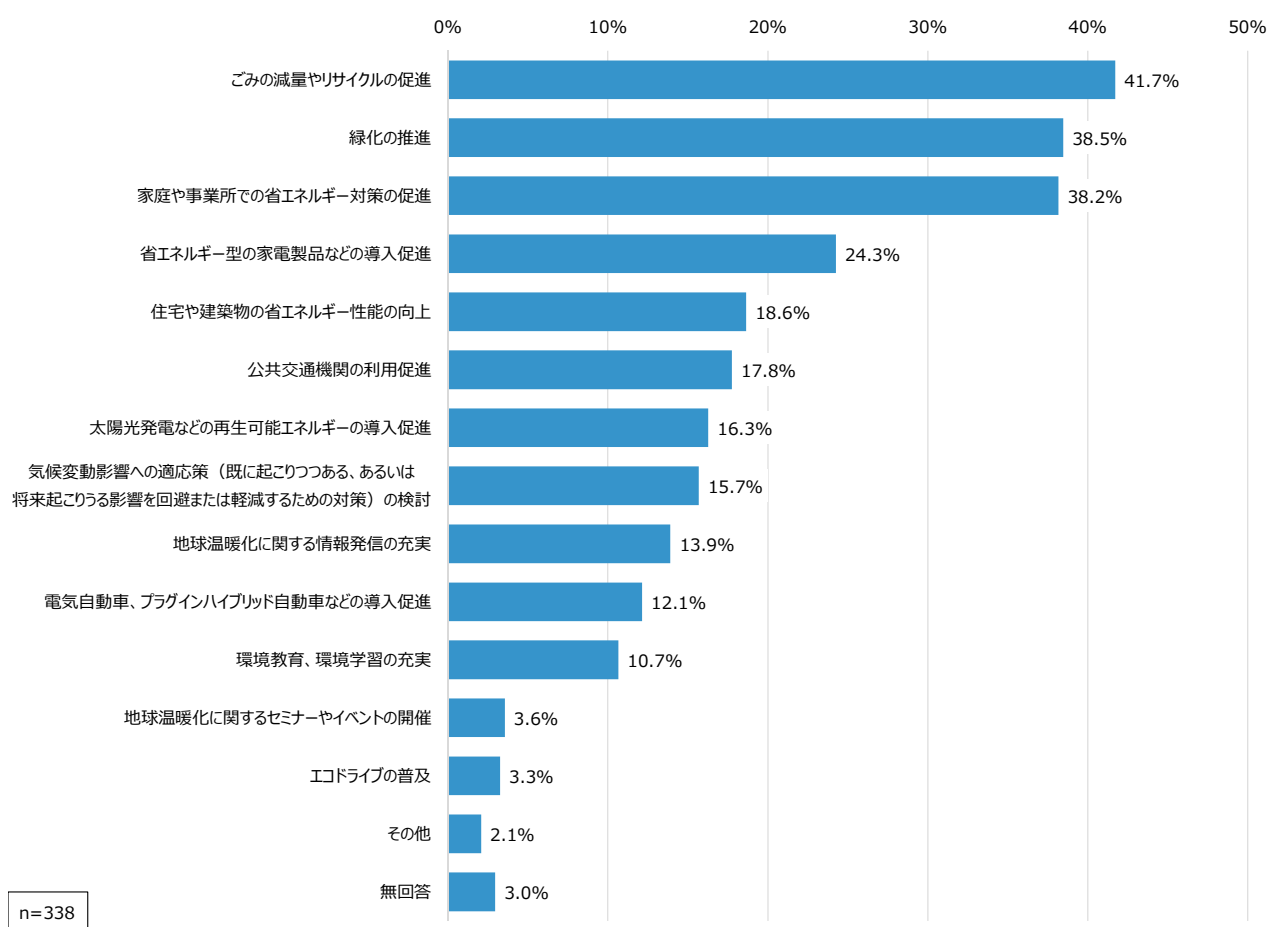
■その他の主な意見

- エネファームを利用している
- 電気料金が安くなるなら利用したいけど、制限等があれば利用しないかも
- 何のことかさっぱり分からない
- 電力化が温暖化問題に貢献するとのことですが原子力発電のみに頼ってしまうことに疑問があります
- 利用方法を知らない
- 料金が同等かそれ以下で、かつ電気が安定供給されるのであれば、別メニューにせず、ベースとしての供給を行えばいいのでは、と思う
- 今のマンションはどうか分からない！

問 20

あなたは、今後、藤井寺市がカーボンニュートラルの実現に向けて地球温暖化対策を推進していくうえで、どのような施策に力を入れていくべきだと思いますか。（あてはまる番号 3 つに○）

藤井寺市が地球温暖化対策を推進していくうえで力を入れていくべき施策については、「ごみの減量やリサイクルの促進」が 41.7%で最も多く、次いで「緑化の推進」が 38.5%、「家庭や事業所での省エネルギー対策の促進」が 38.2%などとなっている。



■その他の主な意見

- ・ 市民に対して負担が無いようにすること
- ・ 中国、アメリカに対して、ガス排出を止めるように訴える
- ・ 事業所の屋上緑化や太陽光発電パネル設置の促進
- ・ 実施者に対しての助成

問 21

省エネルギーなどの地球温暖化対策に取り組むために行っている工夫や藤井寺市の地球温暖化対策に関するご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にご記入ください。

■自由意見

- ・ 高齢の年寄り 1 人なので、色々な問題があると思うがよく分からない。今の生活でなんとかやっています。若い人達が頑張ってやって欲しい。
- ・ 家がたて込みすぎ。緑を増やす。
- ・ 地球全体の問題であり、一地方都市が力を入れる問題ではない。もっと地域としての課題等に取り組んで欲しい。特に、子育ての課題に力を入れて欲しい。
- ・ 地球温暖化に対する市民の意識を聞くことにより、市が何をしようとされるのかよく見えません。グリーンウォッシュにならないように、今回の調査結果をどのように活用されたのか必ず報告をお願いします。市税を利用して、表面的な調査に終わらないことを願います。
- ・ 「現在なぜそうなったのか」本当に分かっているのか？
- ・ 地球温暖化を回避する方法の強調の発信が弱い。情報発信の充実。
- ・ 各個人が、省エネ意識を持つことで、社会全体での環状変化に繋がると思います。ですので、今後もより一層地球温暖化が進むことで、どのような未来が待っているのかを、具体的に啓発して、多くの人々に周知し、認識して頂くことが大切であると思います。少しの意識でも、多くの変化に繋がると思います。
- ・ 食品の購入時包装に使われる再生可能なプラスチックトレイのリサイクルについて、藤井寺市ではどこに持って行けばいいのか分かりません。どこで回収してくれているのでしょうか。包装のトレイ等、回収ボックスが分かれれば、家庭ごみをもっと減らせます。ペットボトルは、市役所に持って行っています。
- ・ オール電化、太陽光発電設置も考えた時期もありましたがどっちにしてもお金がかかりすぎるのでやめました。あと何年生きるか考えたら良いことだと思っても費用はかけられません。
- ・ 山の無い藤井寺市は緑が少ない。公園に樹木の植栽をして、緑を増やし気温を下げよう。大きな公園が必要。
- ・ あと 2 年で FIT 終了。余剰電力を蓄電できる自動車を購入したいが、価格補助できるような制度や補助金があると嬉しい。各家庭で、自然エネルギーの活用ができるよう導入すると、住民税が安くなる、等。
- ・ お金があれば省エネや太陽光エネルギーも考えられるが生活するのに精一杯です。
- ・ 電気自動車の補助金をお願いしたいです。
- ・ 藤井寺市がゼロカーボンシティを目指していることを知らなかったなので、このアンケートが届き、知ることができました。これをきっかけに自分でもできることから取り組んでいこうように心掛けようと思います。
- ・ 年齢的、收入的にも温暖化対策に積極的になれない。（熱中症にならないようにクーラーは適宜使いたいし、高血圧のことも考えたら暖房も適宜。移動手段の自動車（ハイブリッド）も主人の運転が可能な時期

の内に乗りたいし、電気自動車に買い替えも困難と思われる。) 人間の健康も脅かさず、無理のない範囲で。藤井寺は老人が多いと思う。こういうアンケートを実施するのは良いことだと思う。

- 意識の改革というものはとても難しいと考える。ただ、それを理由に環境について考えることを放棄してはいけない。イオンや、人が集まる場所にポスターの掲示など、引き続きお願いしたいです。いつも、市政の運営ありがとうございます。
- 温暖化によるゲリラ豪雨で家の裏の川が毎回溢れ、車のステップが流されていき、人が通れなくなります。国府 3-5 です。いつか家が浸かってしまいます。なんとかして下さい。引っ越したいです。何年も放置状態です。怖いです。
- 地球のことよりも市民のことを考えて欲しい。公園を増やして欲しい。市長、市民の生活の現状分かっていますか？
- 地区会館への太陽光発電の導入（補助金）→災害発生時の対策としても重要。電気自動車用の配電スタンドの設置。市の巡回バスの再検討（空バスで廃棄ガス垂れ流し）→ライドシェアの積極的運用
- 市の公用車や近鉄バス等は電気で、と思います。
- 地球温暖化対策について『広報ふじいでら』の巻頭ページなどでもっと周知しても良いと思います。文章だけよりイラストも加えると市民の目にさらに留まりやすくなると思います。
- 市としての活発な情報発信と取組をお願いしたい。
- 藤井寺市がカーボンニュートラルを実現して 0 になる時が待ち遠しい。市の政策でどれくらいの費用がかかるのか、市がそれを実現できるのであれば政策を進めていけば良いと思いますが、個人一人ひとりの力だけでは駄目だと思う。やはり一番大きな問題は費用がかかることなので 1 年毎少しずつでもこの運動を広げ、長い年月をかけて改善すべきこと。
- 意識付け→まず市民一人ひとりが地球温暖化対策についての必要性を意識すること。優先順位→何をどう取り組むのか、効果等も含めて、優先順位をつける。（市民・行政・事業者等それぞれの立場で）
- ごみの減量。公共交通機関の利用促進等々。セミナーや、イベントの充実。
- 今現時点で藤井寺市がどのような対策をしているかが分からないので意見等が記入できません。すみません。
- 物価高のため、各家庭で「何か」することは負担が大きい。「市」が率先して、費用面でも動いて欲しい。
- “テーマ”が実生活に結びつくように、噛み砕いて“広報ふじいでら”に載せて下さい。現状“雲の上”のお話になっています。（すみません）
- 地球温暖化対策を気にしてはいるものの、現状一部の意識が高くて生活に余裕のある人しか対策に取り組みにくい印象がある。国民一人ひとりが危機感を持って意識を変えられるように、最初は不便に感じてみず行政が方向を変えて欲しいと思います。
- 藤井寺市民が安心して楽しい生活が出来るように願っています。
- 年金暮らしでは金のかかる対応は不可能。
- 相当な費用（予算）（税金）を使用して、このような市民 1,000 人にアンケートを実施する重要な施策であればもう少し広く目に見える PR をしていただきたい。例えば、市長自ら取組施策の談話など「目に見える」取組、毎月発行される「広報ふじいでら」の表紙に対策を掲載、各地区に設置している「藤井寺市広報板」（ほとんど掲示物なし）の活用など、目に見える形で市民の脳裏に焼きつける対策を願います。
- 藤井寺市の地球温暖化を考えるよりも前に、今現在住んでいる市民に対して住みやすい町、道の修理（早く直して欲しい）、病院に考えを集中して欲しい。地球温暖化を前に出して、無駄なアンケート・郵便

物にお金を使うのではない。言葉遊びはやめて、ちゃんとした市の業務をして欲しい。地球温暖化対策など笑うようなことはちゃんと市の業務ができている市がやることです。

- まずは政府のガソリン補助金に反対することから始めて欲しい。歪んだ行政は真面目に取り組む人にとって、反対の作用をします。トリガー条項の解除をすべきです。その上で必要に応じて炭素税の議論をすべきです。
- フードマイレージを意識して買い物をするようにしている。石油製品の消費を抑えるようにしている。再生可能エネルギーを大規模に作る（国、自治体）。原発依存はしたくない。太陽光、風力、地熱などのクリーンな発電を大規模に！
- 庭木育成に対する補助。（水道料金等）
- 市民に対し、市は何をやろうとしているのか分からない。身近に感じる対策をして欲しいです。藤井寺市の地球温暖化対策を分かりやすく、市民に教えて欲しいです。
- 木を植えて、夏などに暑さを防げるようにして欲しい。
- 再生可能エネルギーや省エネ技術の導入、「カーボンニュートラル」、「ブルーカーボン」等は国際間の協力が必要。軍事力拡大よりも温暖化対策に取り組んでもらいたい。近代戦争になると、地球環境を悪化させてしまう。
- 藤井寺市の広報を上手く活用してもらいたい。できることは協力したいです。自分が住んでいる所なので、良くなるのはすごく嬉しいです。皆さん頑張って下さい！！
- 少しでもと思い、日々対策をしている。ごみ箱は新聞で作ってごみを入れている。疲れて帰る途中市役所のライトアップを見て、この光を見て市民はどう思うのだろうかと考えました。市民税は高い。そして、雨の日も、風の日、祝日等関係なく、ごみの収集に来てくださる、作業員の方々にはとても感謝いたします。
- 温室効果ガス、カーボンニュートラル・・・など、度々耳にしているけど、十分理解できているかどうか・・・。例えば、洗剤などは容器持参の量り売り、卵はパック持参で買うなどで、ポリ容器のごみを減らす一助になるのでは、海外で実施している国もあります。
- FIT（固定価格買取制度）は止めるべき。電気自動車の補助金制度は廃止するべき。
- 節水節電と賞味期限間近な食料品の購入と、可能な範囲でのSDGsへの参画。
- 省エネルギーのために寝ている時はエアコンを使っていないです。新しい取組頑張ってください。応援してます。
- 個人の省エネ製品導入に対する補助金やクーポンがあれば（もし既にあるならもっと周知して欲しい）、「安く買えるなら」と導入する方もいると思いますし、結果的に地球温暖化について知ってもらうきっかけになると思います。地球温暖化についてのセミナーなどは、興味がある人しか参加しないと思うので、まずは金銭的な補助で省エネ製品の導入を促進し、結果的に地球温暖化について意識してもらうという方法が効率的だと思います。今回このアンケートで改めて地球温暖化について考えるきっかけができました。ありがとうございました。
- 補助金や、トータルで安くなるものを施策として欲しい。
- 暖房冷房の利用時間をこまめに調節すること、温度調節を行う。
- 藤井寺は人口も少ないし、格好をつけるためだけに税金を無駄に使うのはやめて欲しい。
- 気象変動、地球温暖化は生活してる中で関わってるので、個人個人気にしてると思います。私は今回のようなアンケートで改めて気づかされたので、いろんな目につく所で発信していけば意識が向くように思います。
- 省エネルギーは大事だが、まず現実的か、実現可能かをしっかりと考え、その上で検討・決断をして欲しいです。下手に勢いで推し進めたり、逆に二の足を踏んでいては何も進みません。

- 温暖化対策の元を個々の利益の為に利用する業者や企業、政治家が存在することも事実なので資金操作が無くなることを望む。
- 個人や事業所全ての人が一丸となって取り組むために、市が方針をしっかりと示し、すでに対策について導入、またはこれから導入する人に対しての助成制度を設けることが必須ではないでしょうか？ 言ってるだけでは無理だと思います。
- そんなことより市民のことを考えて欲しい。明日食べていくお金も無いのに。温暖化のことなど考えてる余裕も無い